

■(円融房)明雲 僧。延暦寺寺衆徒とともに平氏に近い立場をとり、平氏と命運をともにした。
みょううん
・ ・ ・ ・ ・ 1115＝ 生。村上源氏の久我大納言源顕通の次男。母は不詳。

中尊寺金色堂1124＝ 9歳：

鳥羽院政始・ 1129＝14歳：

忠盛宋船横領1133＝18歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1142＝27歳：

比叡山に登り、弁覚法印から顕密二教を学び、

頼長内覧・ ・ 1151＝36歳：

保元の乱・ ・ 1156＝41歳：

平治の乱・ ・ 1159＝44歳：
・ ・ ・ ・ ・ 1160＝45歳：

源頼政内昇殿1166＝51歳： 僧正，
清盛太政大臣1167＝52歳： *比叡山延暦寺の第55代座主(天台座主)となる。

後白河出家・ 1169＝54歳：
後白河院・平清盛の対立が深化するなかで、延暦寺衆徒とともに平氏に近い立場をとる。

鹿ヶ谷事件・ 1177＝62歳： *院近臣西光(藤原師光)の弟加賀守藤原師高・同日代師経兄弟が、延暦寺末寺加賀白山の堂舎を焼き払ったことから、延暦寺衆徒が蜂起して師高・師経の流罪を強要した。明雲は西光の訴えでその責任を問われ、激怒した後白河院により座主を停廃のうえ伊豆に配流と決まった。しかし伊豆に赴く途中、近江栗津で延暦寺衆徒が明雲を奪還し、鹿ヶ谷陰謀事件によって西光が処刑され、明雲の処罰も許された。その後、明雲は大原に籠居していたが、

・ ・ ・ ・ ・ 1178＝63歳：
治承のクーデタ 1179＝64歳： *清盛のクーデタにより第57代天台座主に還補された。また久しく寺門派に傾されていた四天王寺の寺務も兼ねることになったが、

源氏一斉蜂起1180＝65歳：
後鳥羽天皇・ 1183＝68歳： *木曾義仲クーデタの際、後白河法皇の御所法住寺殿に祇候していて義仲の襲撃に遭い、円慧法親王とともに、流矢にあたって入滅した。